

## ■ レンスイファイバー®仕様表

項目	型式	REF-5S	REF-10S	REF-15S	REF-25S	REF-50S
基準流量 (m <sup>3</sup> /h)		3~5	6~10	9~15	15~25	30~50
主配管口径		40A	40A	50A	65A	100A
ろ材		ポリプロピレン製長毛繊維 (カートリッジ式)				
ろ過塔 (mm)		Ø 300 × 2600H SUS製	Ø 400 × 2600H SUS製	Ø 500 × 2600H SUS製	Ø 650 × 2600H SUS製	Ø 900 × 2850H SUS製
占有面積		2500W × 1300D	2600W × 1400D	2700W × 1400D	2400W × 1950D	2700W × 1950D
有効高さ <sup>注1</sup> (mm)		3724H	3780H	3930H	4195H	4157H
製品重量 (kg)		700	850	1000	1200	1600
運転重量 (kg)		1350	1450	1800	2500	3850

※REF-5S~REF-50Sは、共通架台に設置

項目	型式	REF-90S	REF-120S	REF-150S
基準流量 (m <sup>3</sup> /h)		54~90	72~120	90~150
主配管口径		125A	125A	150A
ろ材		ポリプロピレン製長毛繊維 (カートリッジ式)		
ろ過塔 (mm)		Ø1200 × 2900H SUS製	Ø 1400 × 2960H SUS製	Ø 1600 × 3000H SUS製
占有面積		2200W × 2200D	2300W × 2400D	2600W × 2700D
有効高さ <sup>注1</sup> (mm)		4320H	4520H	4983H
製品重量 (kg)		1800	2500	2800
運転重量 (kg)		5700	7900	9800

※REF-90S~REF-150Sは、ろ過塔単体

注1：メンテナンス時には有効高さに加え、  
カートリッジ交換スペースが必要です。  
REF-25型以下：+1500mm H  
REF-50型以上：+3500mm H  
※仕様は改良のため予告なく変更される場合があります。

**改良のため、予告なく仕様の一部を変更することがありますので、ご了承ください。**

### 三菱ケミカルアクアソリューションズ株式会社

本社 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 (ゲートシティ大崎イーストタワー10F)  
TEL (03)6748-7463 (直)

大阪支店 〒541-0048 大阪市中央区瓦町4-5-9 (井門瓦町ビル9F)  
TEL (06)6204-8531 (代)

名古屋支店 〒453-0053 名古屋市中村区中村町6-5 (中村公園第2ビル)  
TEL (052)486-2677 (代)

福岡支店 〒812-0879 福岡市博多区銀天町2-2-28 (損保ジャパン日本興亜福岡銀天町ビル3F)  
TEL (092)574-1431 (代)

お問い合わせ・最新情報ホームページ

<http://www.mcas.co.jp>

販売代理店

19041CR0 KN

長毛繊維を用いた  
**超高速ろ過装置**

# レンスイファイバー®

従来の砂・アンラサイトの代わりに  
長毛繊維を使用する画期的なろ過装置です。  
ろ過スピードは従来装置の4倍以上にアップされました。



台風、大雨など原水の濁度が急上昇しても、もうご心配はいりません。

# 長毛繊維を使った超高速ろ過装置レンスファイバー<sup>®</sup>は常に安定した水質を供給します。



## 特徴

- 非常時には原水濁度 100 mg/ℓでも処理が可能です。
- 通水LVは80m/hと超高速ろ過装置です。
- ろ材の交換はカセット式で簡単です。

### 芯ひも効果で繊維を複層ろ過構造に

水流で加圧された繊維は、一定の長さのひもで上下を固定されているので、繊維が完全に押しつぶされることなく、塔上部より下部に向かって「疎」から「密」へと段階的ろ層が形成され、高純度の処理水を供給します。

- 処理能力の一例  
処理水濁度は原水の性状により変動します。  
定常時入口濁度 (5~50) mg/ℓ  
処理水濁度 (1.0以下) mg/ℓ  
非常時入口濁度 (100) mg/ℓ  
処理水濁度 (<2.0) mg/ℓ



塔内充填前

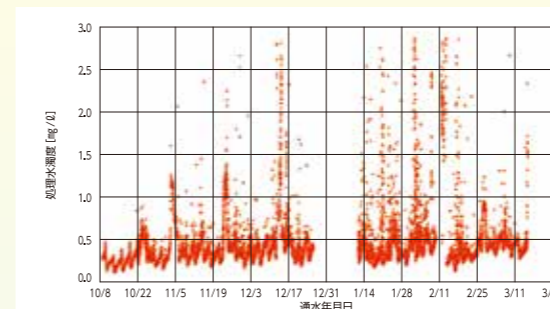
### 優れた洗浄システム

繊維の洗浄時には芯ひもが繊維の絡みつきを防ぎ、水と空気の強烈な流れで洗浄。繊維に付着した濁質をしっかりと落とし、安定したろ過性能を維持できる。他社の繊維ろ過法にはない、画期的な特長です。



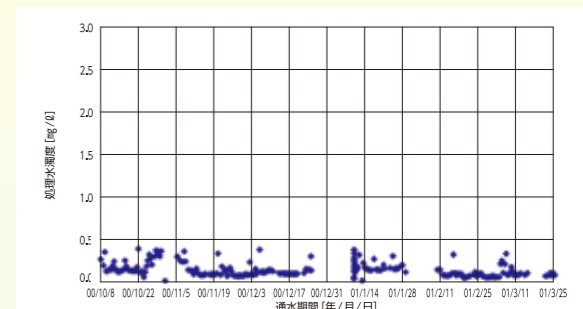
## 従来方式との処理水比較

従来方式とレンスファイバー<sup>®</sup>処理水の比較 (処理水量10m<sup>3</sup>/h・原水濁度7.0~20mg/ℓ)



### 従来型2層ろ過

処理水濁度：2mg/ℓ以下  
ろ過塔：1,200φ×2,500mmH  
ろ材重量：2,300kg  
通水LV：5~15m/h  
水回収率：95%  
PAC添加量：1.5mg/ℓ



### レンスファイバー<sup>®</sup>

処理水濁度：1mg/ℓ以下  
ろ過塔：400φ×2,300mmH  
ろ材重量：13kg  
通水LV：50~80m/h  
水回収率：97%以上  
PAC添加量：0.5mg/ℓ

## レンスファイバー<sup>®</sup>のしくみ

### ① ろ過工程 (初期)

ろ過塔上部から原水を送る。繊維を水流で加圧し、上部から下部に向かって「疎」から「密」へと段階的に「ろ層」が形成される。

### ② ろ過工程

繊維のすき間に濁質を捕捉。圧縮された繊維を通り抜けた水は浄化される。

### ③ 洗浄工程 (水空気逆洗)

塔下部から処理水を一定時間逆流させ、縮んでいた繊維を伸ばし、同時に空気でぶるぶる震わせることで、繊維に付着していた濁質を一気に落とす。

### ④ 水抜き工程

缶体内の水は一旦系外に排出され、その後、水空気逆洗を数回繰り返す。

### ⑤ 水張り工程

洗浄が完了後、塔内を満水にして再びろ過準備。



芯紐

